

学校の沿革

- 明治 9年 第9中学区公立第8小学白瀬校附属小学校として開校する。
明治 18年 虫崎分校場を開校する。この前後に黒姫分校場が開校する。
明治の中頃に北小浦分校場が阿弥陀堂で開設される。
- 明治 25年 加茂郡内海府村立内海府小学校と改称する。
明治 26年 藻浦分教場を設ける。
明治 27年 見立分教場を設ける。
- 明治 44年 本校を現在地に移転し、新築する。
- 昭和 2年 内海府村立尋常高等小学校として認可される。
昭和 16年 佐渡郡内海府村立内海府国民学校と改称する、
昭和 22年 佐渡郡内海府村立内海府小学校と改称する。
昭和 29年 両津市立内海府小学校と改称する。
- 昭和 38年 本校、校舎落成式を挙げる。
昭和 44年 見立冬季分校を廃止する。
昭和 46年 藻浦冬季分校を廃止する。
- 昭和 51年 内海府小学校百年祭が行われる。校歌制定。
昭和 57年 黒姫分校が廃校となり学区変更で児童は浦川小学校へ通う。
昭和 58年 虫崎分校、北小浦分校が廃校になり本校に統合される。
さらに、北鶴島小学校・同願分校が閉校になり、本校に統合される。
- 昭和 61年 内海府小学校110周年式典が行われる。
- 平成 2年 体育館が改築竣工される。
平成 5年 両津市へき地・複式研究発表会を開催する。
平成 6年 内海府小・中学校プールが完成する。
平成 8年 創立120周年記念事業・記念式典が実施・挙行される。
平成 11年 両津市へき地・複式研究発表会を開催する。
平成 16年 市町村合併により、佐渡市立内海府小学校と改称する。
平成 17年 第10回県環境賞を受賞する。
平成 18年 第13回コカ・コーラ環境教育賞(コカ・コーラ環境教育財団主催,読売新聞社協力,環境省後援)を受賞する。
第35回新潟県へき地・複式教育研究大会佐渡大会の会場となる。